

高温耐性水稻品種「恋の予感」の安定栽培体系

高温耐性水稻品種「恋の予感」は普通期移植では極疎植でも慣行植と同水準の収量・品質が得られる。一方、晩植での安定収量確保には坪47株(14.2株/m²)以上の栽植密度が必要である。

普通期移植における緩効性肥料の全量基肥施用では増肥により多収となり、問題となる品質低下は生じない。

緩効性肥料を全量基肥施用する場合には、速効性成分が少なく、生育中期に溶出量が増加する肥料が適する。

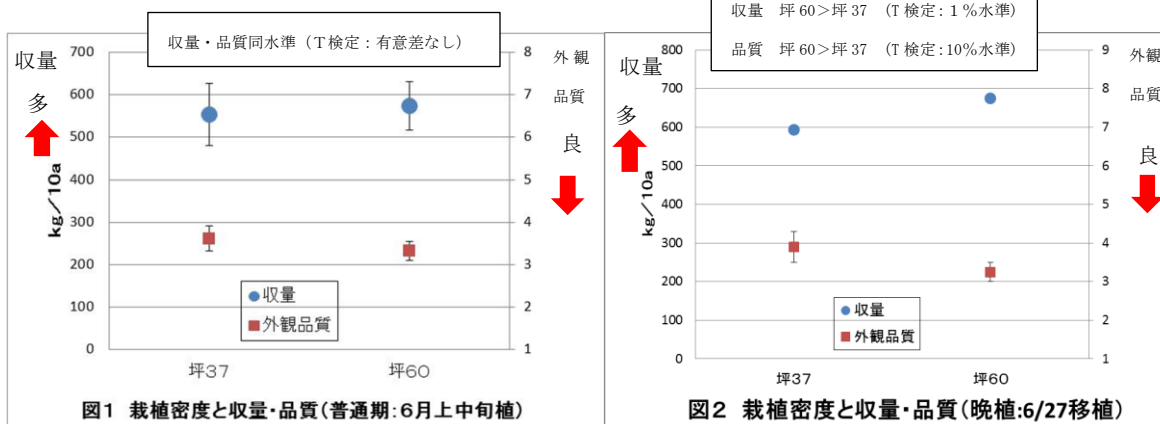
成果の内容

- 普通期移植（6月上～中旬）における極疎植(坪37株：11.2株/m²)は慣行植(坪60株：18.2株/m²)と同水準の収量・品質が得られる（図1）。
一方、晩植(6月下旬)における極疎植(坪37株：11.2株/m²)では慣行植栽培(坪60株：18.2株/m²)と比較し、減収する（図2）。晩植での安定収量確保には、(坪47株：14.2株/m²)以上の栽植密度が必要である（図3）。
- 地力中庸ほ場における普通期移植 緩効性肥料全量基肥施用では窒素成分を8kg/10aから10kg/10aに増肥することで穂数、一穂粒数増等により多収となり、品質は同等である（表1）。
- 緩効性肥料を全量基肥施用する場合には、速効性成分が少なく、生育中期に溶出量が増加する緩効性肥料（表2）を使用することで、慣行肥料と比較し、普通期、晩植ともに穂数、一穂粒数及びm²当たり粒数増等により多収となり、品質は同等である（表3）。

成果の活用面・利用上の留意事項

- 日照条件不良、地力不足等、ほ場条件により茎数が確保しにくいほ場、雑草が多いほ場では疎植により収量が低下する危険性がある。
- 緩効性肥料を全量基肥施用する場合には地力等を勘案して施肥量を調整する。

具体的なデータ



注) H28～30 全量基肥施肥(N:8kg/10a)

注) H28、H29 分施慣行施肥(N:7kg/10a)

外観品質は1～9で示し、1～5が概ね検査等級の1等、6～7が2等、8が3等とした(以下同じ)

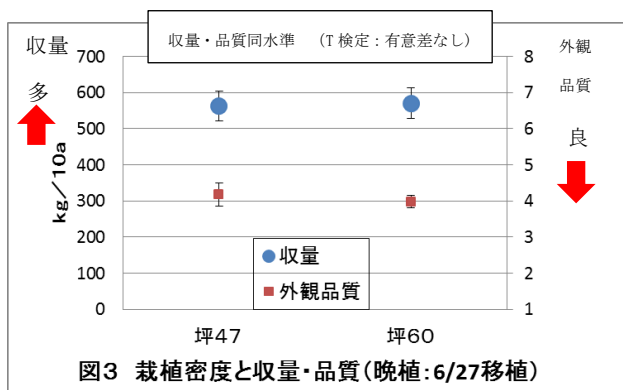


図3 栽植密度と収量・品質(晩植:6/27移植)

注) H28、30 分施肥慣行施肥(N:7kg/10a)

表1 各年度の収量及び品質等(施肥量)

品種	年度	総窒素量 (kg/10a)	収量 (kg/10a)	最高茎数 (本/m ²)	穂数 (本/m ²)	一穂粒数 (粒/穂)	m ² 粒数 ×100	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	外観品質 (1-9)	玄米タンパク 含有率 (%)
恋の予感	H28	8	506	330	283	89.0	252	82.2	21.8	3.5	6.7
		10	546	403	301	97.1	292	71.4	22.4	3.7	6.9
	H30	8	532	547	389	93.4	363	65.0	21.7	3.5	6.5
		10	605	605	417	98.2	409	62.0	21.6	3.5	6.4
(参考) ヒノヒカリ	H30	8	551	488	397	81.5	324	66.5	22.3	3.5	7.2
		10	547	566	428	81.1	347	63.5	21.6	3.3	7.2

注) 使用肥料はセラコート R024 (お米守り一発)

千粒重、登熟歩合、収量は1.85mm以上、千粒重は水分15%換算、玄米タンパク含有率はB社製のMPAで測定し乾物%で示した。

表2 緩効性肥料の窒素配合割合(%)

区分	速効性	シグモイド(日型)		
		50日	90日	110日
中間重点型	25	15	40	20
慣行	40	10	20	40

注) 使用肥料 中間重点型:セラコート R004 (直播一発004)、慣行:セラコート R024 (お米守り一発)

表3 緩効性肥料の種類と生育及び収量等

○普通期(6月5日移植)

品種	肥料種類	収量	最高茎数	穂数	一穂粒数	m ² 粒数	登熟歩合	千粒重	外観品質	玄米タンパク含有率
		(kg/10a)	(本/m ²)	(本/m ²)	(粒/穂)	×100	(%)	(g)	(1-9)	(%)
恋の予感	中間重点型	610	443	322	93.6	301	76.4	22.8	3.1	7.0
H28~30平均	慣行	582	444	318	88.6	281	75.7	22.7	3.1	6.8
(参考)	中間重点型	448	391	309	86.5	267	72.9	23.1	4.0	6.9
H30 ヒノヒカリ	慣行	472	399	316	83.1	263	78.2	23.0	3.6	6.9

○晩植(6月27日移植)

品種	肥料種類	収量	最高茎数	穂数	一穂粒数	m ² 粒数	登熟歩合	千粒重	外観品質	玄米タンパク含有率
		(kg/10a)	(本/m ²)	(本/m ²)	(粒/穂)	×100	(%)	(g)	(1-9)	(%)
恋の予感	中間重点型	603	446	379	93.2	352	73.0	22.7	3.7	7.1
H28~30平均	慣行	566	457	373	90.7	342	72.8	23.1	3.6	7.0
(参考)	中間重点型	456	448	392	84.4	331	56.4	21.9	5.3	6.7
H30 ヒノヒカリ	慣行	476	444	395	87.9	347	53.3	22.4	4.4	6.7

関連文献等

- 出田収他:高温登熟性に優れ、良食味で多収の水稻品種「中国201号」
平成25年度近中四農業研究成果情報:11-12, 2013.

研究年度	平成28年~30年
研究課題名	高温耐性水稻品種系統の安定栽培体系の確立 「恋の予感」の安定栽培技術体系の確立
担当	農業技術部土地利用作物研究室 来島永治、松永雅志(現農業振興課) 農業技術部資源循環研究室 有吉真知子、中島勘太(現柑きつ振興センター)